

令和8年度 学 校 経 営 方 針

墨田区立吾嬬立花中学校長 河野 敏也

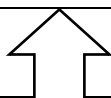
今年度の学校経営目標

〈文武〉両道の精神を基調とし、社会貢献できる人材を育成し、
寄り添い、学び合い、成長を実感する
学びたい・預けたい・勤めたいチーム吾立中

本校の教育目標

「生きる力(確かな学力 豊かな人間性 健康・体力)」を確実に育み、知徳体、調和のとれた人間を育成するため、目指す生徒像として以下を定める

- 進んで学び、深く考え、行動できる生徒
- 誠実で、思いやりのある生徒
- 自らきたえ、心身ともに健やかな生徒



◎経営の柱

- 確かな学力の定着と向上 ○思いやり、協働性と規範意識
- 信頼される学校づくり（教育課程の確実な実施）

1 目指す生徒像 【「見つめる力」「挑戦する力」「やりきる力」「つながる力」】

(1) 礼節と自律を重んじ、主体的に学ぼうと意欲ある生徒

- ① 積極的に授業に参加し、学ぶ意欲を高める生徒
- ② 共に学び合う生徒
- ③ 深く考え見つけ、目標実現に向けてやり抜く生徒

(2) 人権尊重と友愛の精神を基盤とし、自他ともに大切にする思いやり溢れる生徒

- ① 協調性があり、集団や地域社会に積極的に貢献しようとする生徒

② あじみこし(挨拶・時間・身だしなみ・時と場に応じた適切な言葉・主体的、自律的な姿勢)の基本的な生活習慣を身に付けた生徒

(3) 困難さもしなやかに乗り越え、前向きに自治力の向上を図る生徒

① 心身を鍛え、元気勇気をもって一步踏み出し自己肯定感を高める生徒

② できない事ができるようになるレジリエンス力(回復力)を高める生徒

③ 生徒会活動、委員会活動、係活動、部活動等に責任をもって取り組み、自治力の向上を図る生徒

2 目指す学校像【〈文武〉両道の明るく楽しい規律のある学校～ワクワク登校・満足下校～】

(1) 「確かな学力の定着と向上」を図る授業改善

① 教材教具、指導法の工夫改善により、「分かる」、「できる」、「定着する」の学ぶ意欲を高める授業を実践する学校

② 教育 DX に対応し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、生徒の夢や希望を叶え、一人ひとりの可能性を伸ばす学校

(2) 「自主・協働・貢献」を育む生徒指導・進路指導

① 自らの目標を掲げ、自己調整力と創造性、貢献力の伸長に努める学校

(3) 「自尊感情」、「自己有用感」を育む特別活動

① 全ての生徒の出番がある特別活動

(4) 「地域への愛着」を育む連携行事・コミュニティスクール

① 生徒と生徒、生徒と教職員、学校と家庭・地域の間に深い信頼と絆がある学校

② 家庭・地域の教育力を生かす開かれたコミュニティスクール

3 目指す教師像【生徒とともに、互いの教師とともに、家庭・地域とともに学ぶ教師】

(1) 学校経営方針のもと、広い視野に立ち、組織的に行動できる教師

① 全教職員による協働的な指導体制のもと、教育目標を達成しようとする教師

② 報告・連絡・相談・確認の情報共有と行動連携ができる教師

(2) 常に研鑽を積み指導力を向上させるとともに、指導教諭等の授業参観や専門性向上研修等を通して、授業改善に努力する教師

① 校内 OJT や校内研修を充実させ、自己の能力と資質の向上に努める教師

(3) 生徒一人一人の気持ちを理解し、どの生徒にも公正公平に対応できる教師

① 保護者・地域の願いや思いを理解できる教師

② いじめ・暴力・暴言等に対し、不適切な指導や体罰を伴わない毅然と指導できる教師

③ 人権感覚や法令遵守の意識をもち、服務事故防止を実践できる教師

4 学校経営の基本方針

① 楽しく出番がある授業、アウトプット(話合わせる・説明させる・発表させる)を通して思考力・判断力・表現力の育成と学びに向かう力・人間性を涵養する。

② 「分かった」「できた」「やりきった」の達成感ある学習活動を展開しながら、学習意欲を引き出し、適切に評価する。特に主体的に学習に取り組む態度の観点で「粘り強い取組」、「自己を調整しようとする取組」を見とれる評価方法を各教科で確立する。

- ③ 主体的・対話的で深い学びの実現のために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現の授業改善を図る。
- ④ 「学びのユニバーサルデザイン」を取り入れた授業における「吾立スタンダード」を確立し、全ての生徒に分かりやすい達成感を感じられる教育を展開する。
- ⑤ 国・墨田区学力調査、校内実力テスト等の結果の分析や実態を把握して、課題を明確にするとともに、紙による問題データベース、デジタル教材等を活用し、家庭での学習習慣を確立する。家庭学習で取り組ませた内容をコンテストし、基礎基本を徹底させる。
- ⑥ 全教育活動を通して豊かな心の基盤となる道徳心の育成を図り、差別や偏見のない人権尊重の精神を培う。
- ⑦ いじめの未然防止や早期発見・早期解決に努めるとともに「いじめをしない・させない・ゆるさない」という指導を徹底する。
- ⑧ 特別活動や総合的な時間等を通して、生徒の育てたい4つの力、「見つめる力」「挑戦する力」「やりきる力」「つながる力」を意図的、計画的に身に付けさせる。
- ⑨ 特別支援教室において「学習と行動のチェックリスト」、「社会性・行動のチェックリスト」、「文字の読み書きチェックリスト」等を活用し、前後期1回のアセスメントを通じて個々の障がい状態を的確に把握するとともに、特性やニーズに応じて学校生活支援シート及び連携型個別指導計画等を作成し、それぞれの目標に即した指導を行う。
- ⑩ 校内支援委員会を活用しながら、特別支援教育コーディネーター・特別支援教育専門員・不登校巡回教員を中心に学年教員、生活指導主任、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関との連携を図り、特別支援教室では退室を、校内別室教室では教室復帰を見通して、生徒の状況に即した効果的な指導・支援を行う。

5 吾婦立花中学校の授業

- ① 生徒の主体的な学習態度を引き出し、積極的に参加させる授業改善、工夫
- ② 休み時間に授業の用意・準備・移動（チャイム3分前着席）
- ③ 始業、終業のあいさつ（「お願いします」「ありがとうございました」の徹底）
- ④ 始業チャイムでの授業開始、私語はさせない、よく聞く、姿勢よく集中する等授業規律の確立
- ⑤ 指導内容と評価の一体化を図る工夫・改善
- ⑥ 個別最適な学びと協働的な学びの充実とアウトプット（話合わせる・説明させる・発表させる）を通じ学びを深める
- ⑦ 保護者との連携—家庭学習の習慣化と基本的生活習慣（あいさつ・じかん・みだしなみ・ことば遣い・しゅたいてき自律的な姿勢）の定着